中部様式

令和3年度地域公共交通計画の評価結果概要(全体)

# 小牧市地域公共交通会議 (小牧市)

平成28年4月1日設置

平成30年3月

小牧市地域公共交通網形成計画策定

(計画期間:平成30年4月~令和5年3月)

令和4年1月21日 令和3年度評価結果送付

直近の二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
・調査事業により実施した 事業は、効果検証や見直し を行い、次年度以降も継続 的な取組となるよう期待し ます。	こまき巡回バスについては、 令和2年12月路線再編後、 7・8月に利用者アンケート 調査を実施し、利便性・定時 性・速達性などに関しての、 利用状況やニーズの把握に努 めた。	新型コロナウイルス感染症の 状況を注視しながら、利用者 アンケート結果にあった乗り 継ぎ等の意見を踏まえつつ、 利用状況、ニーズの把握に努 め、令和4年に一部路線の見 直しを実施していく。
・市民病院整備に伴う周辺 バス停の集約に続き、桃花 台センター周辺のバス停に ついても検討いただくよう お願いします。	桃花台センター周辺のバス 停の集約化に向けて、基本 設計を実施した。	基本設計を踏まえ、事業実 施に向けて、関係機関や地 権者等と、協議を行ってい く。
・間内岩倉線については、 特に利用の少ない小牧市内 区間の利用状況を分析し、 見直しに向けた検討が必要 です。	市の広報紙に間内岩倉線の 特集記事を掲載し、利用者 への周知を図った。また、 継続的な取り組みとして、 沿線住民や、沿線地区の 小・中学校に啓発チラシの 配布を実施した。	今後も新型コロナウイルス 感染症による外出自粛の状 況を注視しながらも、バス の感染予防対策などの周知 を図り、利用促進に努める。

#### 【地域特性】

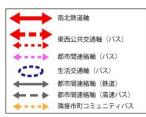
- ◆ 人口は約15万人で、人口密度は名鉄小牧駅周辺及び桃花台ニュータウンが高い
- ◆ 市の中央を南北に名鉄小牧線が縦断
- ◆ 民間路線バスは主に市外の鉄道(春日井市のJR中央本線、岩倉市の名鉄犬山線)に接続
- ◆ こまき巡回バス「こまくる」(コミバス)がその他交通空白地域を運行

### 小牧市地域公共交通網形成計画(H30~R4年度)

### 基本理念

地域の活力と交流を育み、地域を支える持続可能な交通体系





≪将来像1≫

活力あるまちづくりを支える交通体系

- ≪将来像2≫ 持続可能な交通体系
- 地域を支える交通体系 ≪将来像4≫
- 交流を促す交通体系

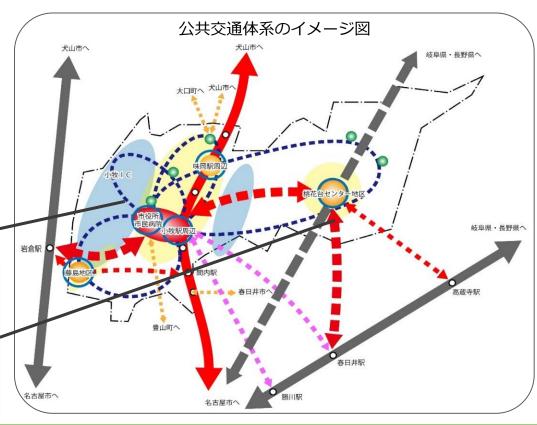
地域間幹線系統:名鉄バス間内岩倉線

#### 地域間幹線系統:名鉄バス桃山線

◆令和3年10月廃止

7月中旬に、名鉄バス㈱、小牧市とで地元区長に廃線についての説明を行い、理解を得た。その後、廃線周知のチラシを区民に配布した。

当該地域については、他の民間バス路線のバス停を利用いただきたいと考えており、こまき巡回バス「こまくる」での対応については、今後の再編時等に検討していく。



# 実施事業

# 概要

≪公共交通マップや時刻表 による情報提供≫

コミュニティバスマップの 改良

【令和4年3月】

◆ 市広報広聴課と連携

≪多様なツールによる情報 提供≫

広報紙による情報提供 【令和3年9月】

◆ 公共交通利用促進協議会と連携

≪交通事業者との連携≫ **バス乗車体験** 

【令和3年11月】

市内イベント(環境フェア)において交通事業者の協力のもとバスの乗車体験を実施し、バスに慣れ親しんでもらうことで、公共交通に対する意識啓発につなげた。

コミュニティバスマップである

「こまくるガイド」に、新たに

民間路線バスを併記するととも

に、観光施設の情報も記載し、

市の広報紙に「乗り継ぎ講座 |

用者へ情報提供を行うことで、

利用促進を図った。

と題した特集記事を掲載し、利

バスマップの充実を図った。

≪地域や学校との連携≫ **バス車体ラッピング** 【令和3年11月~】 市内小中学校の児童・生徒に公共交通利用促進等に関するポスターを募集し、優秀作品をこまき巡回バス車体へのラッピングを実施し、児童・生徒や保護者にバスへの関心を持ってもらうことで、利用促進を図った。







# 実施事業

# 概要

◆ 市市民窓口課と連携

≪未利用者へのPR≫
転入者へのバスマップ配布
【通年】

市内転入者に対し、市民窓口課に おいてバスマップを配布し、利用 促進に努めた。

◆ 市多世代交流プラザと連携

≪未利用者へのPR≫ **こども未来館利用者への利用促進** 【令和3年4月~】 子どもたちの未来を切り拓く力を育む施設である、こども未来館の入場に必要なフリーパス(同館で発行)の提示により、こまき巡回バスの料金無料を実施し、施設の来館促進・バスの利用促進を図った。

《こまき巡回バスの収入源の確保》 **車内デジタル広告の導入【**令和3年 9月~】 バス車内に設置したデジタルサイネージにより有料広告を放映し、運行経費の削減に努めるとともに、行政のお知らせの放映も実施した。



#### 令和2年12月ごまき巡回バス再編による実施事業

### 概要

こまき巡回バスに愛称を新たに設定

こまき巡回バスの平日用、土日祝日用ダイヤの設定

市民から愛称を募集し、親しみやすい愛称「こまくる」を設定したことにより、市民の「マイバス」意識を高め、さらなる利用促進に繋げた。

道路の混雑状況に配慮した平日用、土日祝日用ダイヤを設定 したことにより、定時性が向上した。

各鉄道駅へのアクセス利便性の向上

鉄道駅への接続を考慮したルートの設定により、名古屋市へのアクセス向上につながった。

隣接市町コミュニティバスとの連携した運行

隣接市町境に接続ポイントとなるバス停を設置したことにより、広域的な移動ニーズに対応した。

路線名

約22%減

約23%減

約33%減

約32%減

約12%減

約31%減

**R2** 

9,390,587

443,018

22,685

418,225

43,931

122,719

名鉄小牧線(市内乗降客数)

☆間内岩倉線(岩倉-名鉄間内駅)

春日井市内線(春日井-小牧)

桃花台線(高蔵寺-桃花台)

岩倉線(岩倉-小牧)

桃山線(春日井-大草)

運行主体

名古屋鉄道

名鉄バス ☆補助対象

路線

(単位:人)

**R1** 

12,059,643

576,276

33,902

612,387

49,796

178,495

	春日井桃花台線(春日井-桃花台)	766,547	773,657	486,030	約37%減
	小牧・勝川線(勝川―小牧)	204,497	207,399	160,586	約23%減
	近距離高速バス (桃花台—名古屋)	339,121	314,321	107,165	約66%減
名鉄バス他	中央道桃花台バス停(乗降客数)	77,122	59,827	42,155	約30%減
あおい交通	ピーチバス	360,677	363,377	341,581	約6%減
	桃花台バス	204,805	171,466	121,136	約29%減
小牧市	こまき巡回バス	736,216	724,320	559,771	約23%減
ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー					

(Check)

**H30** 

11,926,998

592,783

32,050

627,393

48,335

177,794

こまき巡回バスは、令和2年12月に再編を行っており、再編前の4月~11月の利用者は366,546人、再編後の12月~3月の利用者は、193,225

民間の公共交通では、令和2年度の近距離高速バスの前年からの減少率が50%以上となっており、他と比べ特に大きい。

人となっている。令和3年度は、4月~11月までの利用者が434,338人であり、令和元年度の約85%となっている。

小牧市地域公共交通網形成計画には、策定時に実施した<u>市民・利用者アンケート、乗降調査</u>の結果を評価指標としているものがあるが、<u>コロナ禍の影響を踏まえつつ、計画における将来像及び基本方針の達成状況を検証するため、令和5年度に実施</u>予定。

#### 課題

- ▶ 新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通全般の利用者数が減少している。
- ▶ こまき巡回バスの大幅再編により、利用者から乗り継ぎが不便など、様々な意見が寄せられている。

#### 対応方針

- ▶ 小牧市地域公共交通網形成計画に掲げた目標を達成するため、公共交通の利用者の増加などに繋がる様々な事業を実施する。
- ➤ WITHコロナ時代を踏まえ、名鉄バス㈱、あおい交通㈱の民間バス路線との連携向上を図り、公共交通利用促進策を実施する。
- ▶ 要望が高まるこまき巡回バスのさらなる利便性の向上を図る。

#### 公共交通利用促進策

- ✓ イベントで民間路線バス等の乗車体験を実施し、バスに慣れ親しんでもらい、利用促進に繋げる。【令和4年10月】
- ✓ 市内イベントにおける啓発活動を実施し、広く市民に公共交通を周知する。 【令和4年11月】
- ✓ 間内岩倉線の沿線地区の小中学校へチラシを配布し、利用促進を図る。「令和4年7月」
- ✓ 間内岩倉線の沿線地区に対し、啓発チラシの地区内回覧により、利用促進を図る。 【令和4年12月】
- ✓ <u>桃花台センターバス停を集約整備し、バスの乗り継ぎ利便性向上を図る。</u> 【令和5年3月】

## こまき巡回バス利便性向上

- ✓ 令和2年12月のこまき巡回バス再編後の利用者ニーズに対応するため、<u>こまき巡回バスの一部路線</u><u>見直しを実施</u>することで、さらなる利便性の向上に努める。 [令和4年3月]
- ✓ こまき巡回バスのGTFSデータを整備し、乗り継ぎ検索の利便性の向上に努める。 【令和4年3月】

#### <地域公共交通計画の評価等結果の様式>

小牧市地域公共交通網形成計画の評価等結果(令和2年4月~令和3年3月)

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
中心拠点及び地域拠点の 交通結節点相互をバスで 移動する利用者数	_	_	_	_	数年おきの評価を 予定している目標 のため評価なし
中心拠点の交通結節点に おける鉄道・バスの日平均 乗車人数		1		_	数年おきの評価を 予定している目標 のため評価なし
地域拠点の交通結節点に おける鉄道・バスの日平 均乗車人数		1	I	_	数年おきの評価を 予定している目標 のため評価なし
公共交通を月に1回以上の 利用をする人の割合			_	_	数年おきの評価を 予定している目標 のため評価なし
公共交通を通勤または通 学目的で利用する人の割 合	_		_	_	数年おきの評価を 予定している目標 のため評価なし
市補助路線及びこまき巡回バスの収支率【間内岩 倉線】28.5% (平成28年度)→32.2% (令和4年度)【こまき巡回バス】 4.5% (平成28年度)→ 9.2% (令和4年度)	・路線の役割や交通サービス確保の考え方に基づく運行の実施 ・こまき巡回バスの収入源の確保	・名鉄バスから いただいた補助 金算出資料 ・令和2年度運 行経費および料 金収入より	【間内岩倉線】21.4% 【こまき巡回バス】3.8% ・新型コロナウイルス感染症の影 響による利用者減により、いずれ も大きく減少した。	・令和2年度の目標はいずれも未達成。引き続き新型コロナウイルス感染症による影響を注視しつつ、有料利用者の増加、広告収入の増加、運行経費の削減を目指す。	
公共交通徒歩圏域人口カバー率	_	1	_	_	数年おきの評価を 予定している目標 のため評価なし
高齢者の公共交通に対す る不満足度	_		_	_	数年おきの評価を 予定している目標 のため評価なし
障がい者等の公共交通に 対する不満足度	_	_	_	_	数年おきの評価を 予定している目標 のため評価なし
鉄道または高速バスへ乗り継ぐバス利用者のバス に対する不満足度	_		_	_	数年おきの評価を 予定している目標 のため評価なし

小牧市内の各拠点から名 古屋駅への移動時間	_	_	_	_	数年おきの評価を 予定している目標 のため評価なし
主要観光施設の最寄り 駅・最寄りバス停の日平 均乗車人数	_	-	_	_	数年おきの評価を 予定している目標 のため評価なし

#### (記載に当たっての留意事項)

- ・ 本様式中、表題の「(○年○月~○年○月)」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「一」と記載して下さい。
- 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果(議事録等)等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。